



8の字ループを介して公園やまちとシームレスにつながり風景となる陸上競技場

公園の多様な価値を再編集し、新しいスポーツの価値を共創・発信する公園「瑞穂 ^{ループ} L∞P」

L ∞ P

LifeSports - Our Own Park

‘LifeSports’ とは
競技・観戦から遊び・気晴らしまで、
こころからだ暮らしを豊かに、まちを元気にする
新しいスポーツの価値概念です

施設整備における独自の取り組み

- 1 まちとシームレスにつながり風景となる新陸上競技場
- 2 公園・まちを巡る8の字ループによる新瑞穂公園
- 3 8つの場と社会実験による市民主役のプレイスメイキング
- 4 豊かな既存資源・施設を活用した新たなみどりの拠点

運営・自主事業における独自の取り組み

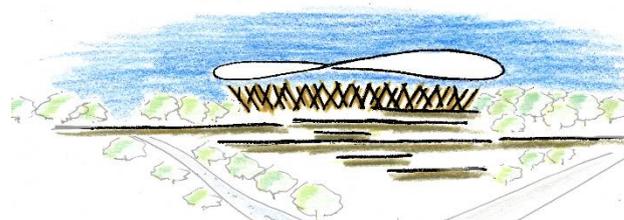
- 1 公園からまちへ賑わいを広げる地域連携室
- 2 市民230万人、一人ひとりに寄り添う仕組みづくり
- 3 多彩なアクティビティを創出する事業展開
- 4 次世代育成と地元への還元による地域貢献

維持管理における独自の取り組み

- | | | | |
|---------------------------------|------------------------|-------------------------|--|
| 1 市民のくらしと笑顔を育む
安全安心で快適な保守の追求 | 2 LCCを最適化する
緻密な修繕計画 | 3 デジタル技術導入による
効率化の追求 | 4 事業期間中はもとより
事業期間終了後も見据えた
サステナビリティ |
|---------------------------------|------------------------|-------------------------|--|



公園に溶け込みながら名古屋の魅力を発信する「空」と「森」と「大地」の陸上競技場



- 「空」 … 瑞穂公園の空に浮かぶ雲のような屋根
- 「森」 … 周囲の豊かな木立に溶け込む森のような外装
- 「大地」 … 公園と連続して伸びやかに広がる段丘状のデッキ



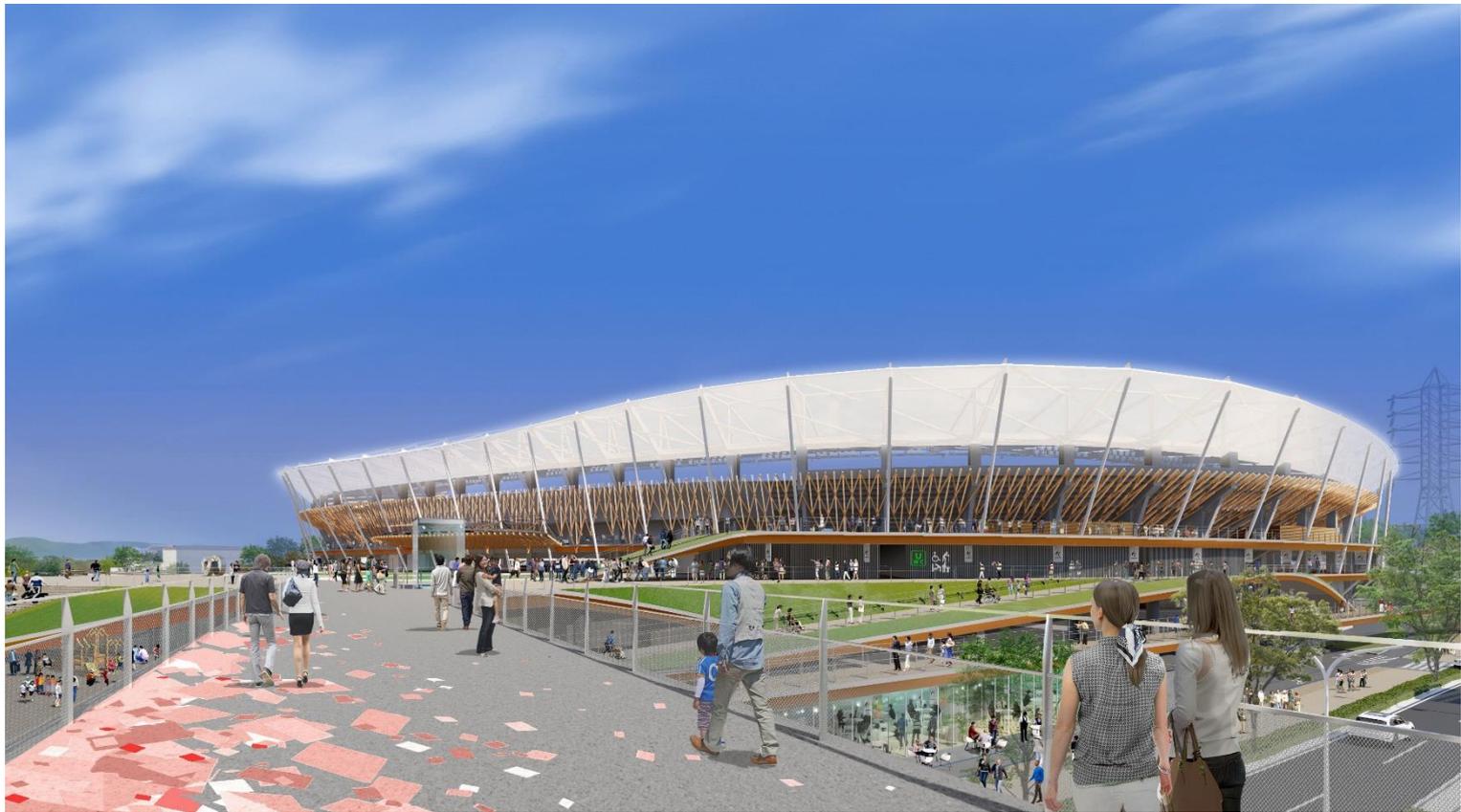
①～⑧の8つの場による市民が主役の場づくり



観客の一体感を高めることで興奮と感動が増幅していくスタンド



平常時は市民に開放され心地よいサードプレイスとなる陸上競技場コンコース



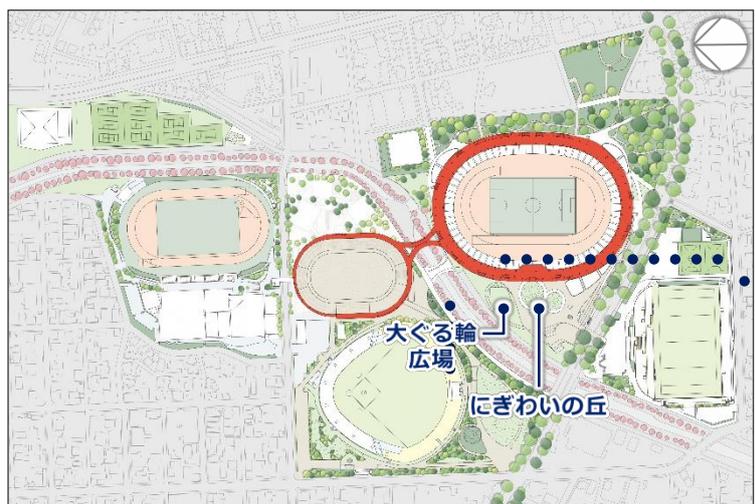
バリアフリーに配慮したラグビー場と陸上競技場をつなぐ南西アプローチ



公園と一体の屋外展示エリアとなる「大ぐる輪広場」



多様な利用が可能な「にぎわいの丘」





緑陰広場の緑の中を抜ける瑞穂運動場東駅からのアプローチ



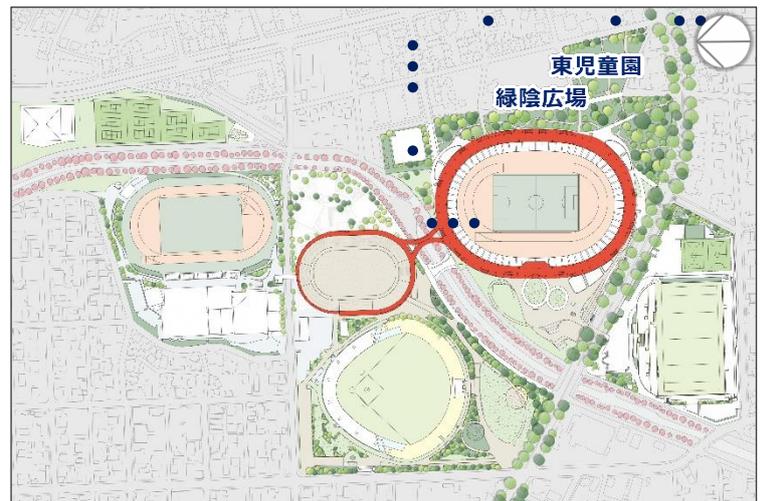
林床を保護する明るい緑陰広場



冒険遊具による絆を深め賑わいある東児童園



緑陰広場を眺めることができる陸上競技場の大階段





南児童園から人々を導くアプローチ



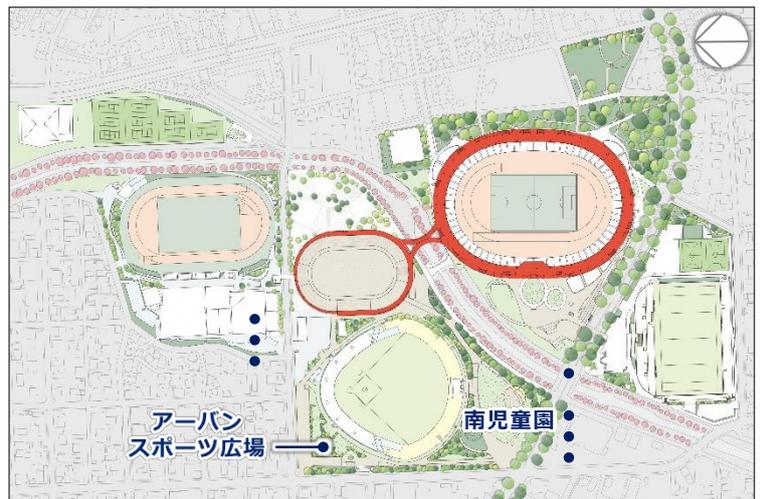
歴史を身近に感じられる瑞穂2号墳の見える化

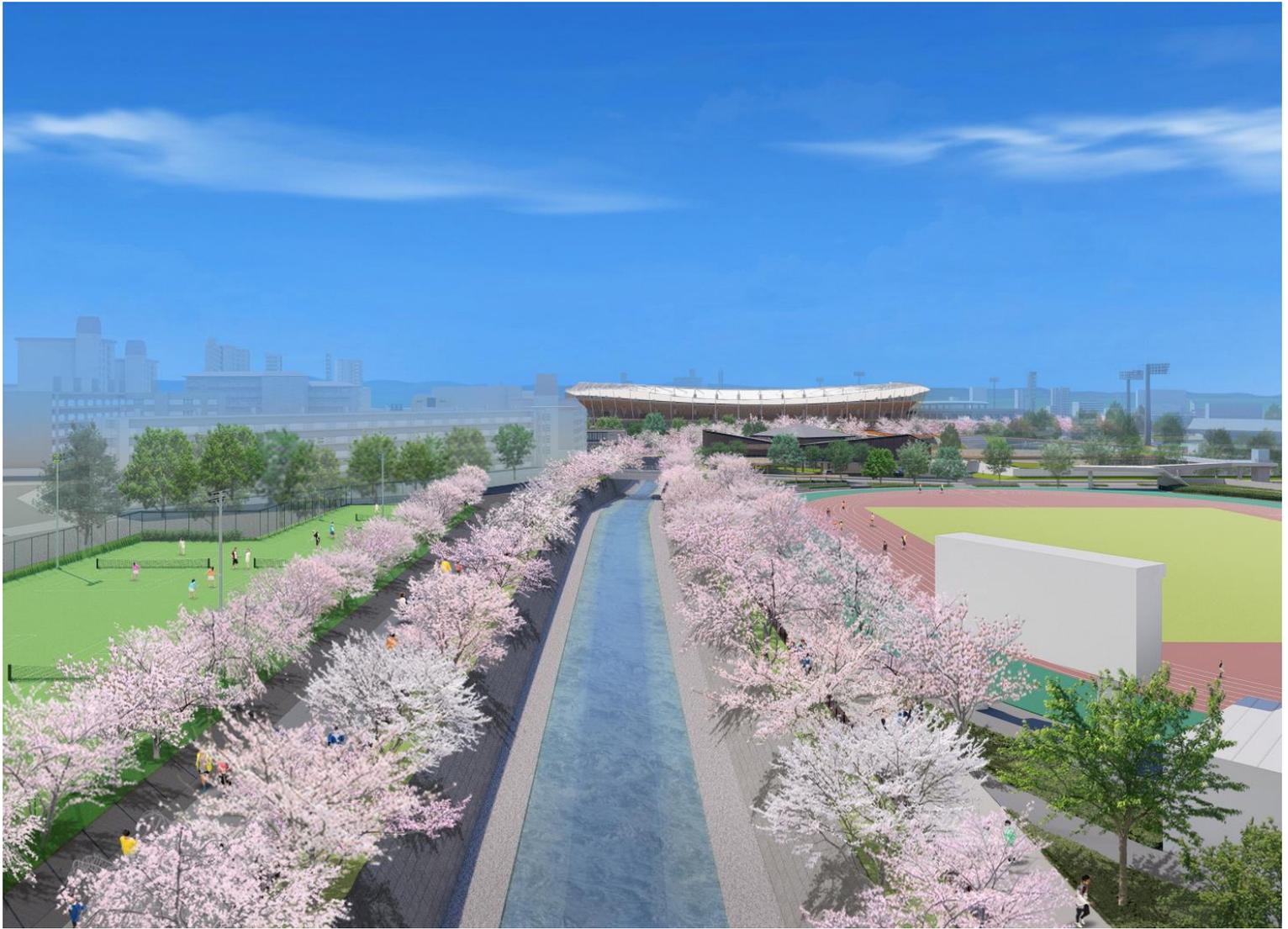


誰もが遊べるインクルーシブ遊具を整備する南児童園



通常時は公園となる野球場周辺の臨時駐車場





遠景から「やさしいシンボル」となる陸上競技場



北陸上競技場の展望台となる北連絡橋





公園内各所での多彩なアクティビティの開催イメージ

スポーツと健幸をテーマにした「LOOPマーケット」の開催イメージ



デジタルサイネージを活用した情報発信



民間収益施設を計画

